

2021年12月期 第2四半期 決算説明会

井関農機株式会社

2021年8月17日

1. 2021年12月期第2四半期業績の概要
2. 国内外市場の動向
3. 2021年12月期 業績予想
4. トピックス

1. 2021年12月期第2四半期 業績の概要



<第2四半期業績>

前年同期比大幅増収増益

(業績内訳)

- 国内 : 消費増税反動減からの回復
経営継続補助金などに伴う需要喚起
- 海外 : 北米、欧州はライフスタイルの変化に伴う需要拡大による販売増加
アジアは前期末タイの販売代理店を連結子会社化した影響や
中国向け販売増加
- 収益 : 増収による売上総利益の増加

<通期業績予想>

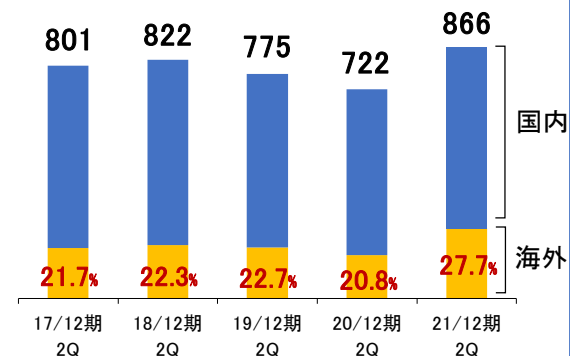
当初連結業績予想から変更なし

(下期リスク)

- ・国内は経営継続補助金などに伴う需要喚起の反動や米価低下懸念による購買意欲減退
- ・新型コロナウイルス感染症影響に伴うサプライチェーンの混乱
- ・原材料価格の高騰と高止まり

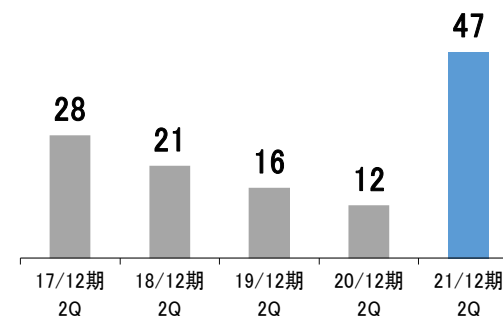
売上高推移(第2四半期累計)

(単位:億円)



営業利益推移(第2四半期累計)

(単位:億円)



		前年同期 (20/12期 第2四半期)	当期 (21/12期 第2四半期)
国内		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 消費増税反動減 ✓ 新型コロナウイルス感染による営業活動自粛 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 消費増税反動減からの回復 ✓ 営業活動自粛が前年同期比では緩和 ✓ 経営継続補助金などに伴う需要喚起
	北米	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 巣ごもり特需により需要は堅調 ✓ 部品入荷遅れによるトラクタの減少(当社一過性要因) 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ライフスタイルの変化による需要拡大 ✓ 海上輸送用コンテナ不足による未出荷などの受注残発生
海外	欧州	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ロックダウンにより現地小売店舗が一時閉鎖⇒当社出荷調整 ✓ 5月以降段階的に店舗営業再開し一部回復 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ライフスタイルの変化によりコンシューマー向け需要は堅調 ✓ 現地代理店はエッセンシャル・リテールとして営業を継続 ✓ ワクチン接種が進み営業活動は徐々に平常化
	アジア	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 中国 <ul style="list-style-type: none"> ・食糧確保政策や移動制限により農機需要喚起 ✓ アセアン(タイ) <ul style="list-style-type: none"> ・農作物生産量の減少や作物価格の低迷により、購買マインド低調 ✓ 韓国 <ul style="list-style-type: none"> ・行動制限による影響はあるも、大型農機需要継続 ✓ 台湾 <ul style="list-style-type: none"> ・大型農機購入補助金施行 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 中国 <ul style="list-style-type: none"> ・食糧確保政策継続や穀物価格の安定等により市場好調継続 ✓ アセアン(タイ) <ul style="list-style-type: none"> ・農作物生産量と作物価格が昨年より回復し、農機需要も回復基調 ✓ 韓国 <ul style="list-style-type: none"> ・大型農機需要継続 ✓ 台湾 <ul style="list-style-type: none"> ・補助金反動減

連結業績の概要

(2021年1月1日～2021年6月30日)

(単位: 億円、%)

	19/12期		20/12期		21/12期		前年同期比
	2Q実績	比率	2Q実績	比率	2Q実績	比率	
売上高	775	100.0	722	100.0	866	100.0	+ 144
(国内)	599	77.3	572	79.2	626	72.3	+ 53
(海外)	175	22.7	149	20.8	240	27.7	+ 90
営業利益	16	2.1	12	1.8	47	5.4	+ 34
経常利益	8	1.1	10	1.5	55	6.4	+ 44
親会社株主に帰属する 四半期純利益	6	0.9	9	1.4	41	4.8	+ 31
為替平均 レート (円)	米ドル	110.7	108.5	106.8	△1.7		
	ユーロ	125.7	119.7	129.1	+9.4		

前年同期比
+53億円

農機製品・作業機は消費増税反動減からの回復や経営継続補助金などに伴う需要喚起もあり
国内売上全体では増収

(単位:億円)		19/12期 2Q実績	20/12期 2Q実績	21/12期 2Q実績	前年同期比	
						備考
農機 製品 関連	整地機	151	133	147	+ 13	トラクタ:+10
	栽培機	61	55	64	+ 9	田植機:+4
	収穫調製機	53	43	48	+ 5	コンバイン:+4
	小計	266	231	259	+ 27	
	作業機	119	106	135	+ 28	
	部品	68	71	72	+ 1	
	修理収入	26	27	28	+ 0	
	小計	214	206	236	+ 30	
	計	481	438	496	+ 58	
	施設工事	13	30	19	△ 11	
その他農業関連	104	103	110	+ 6		
合計	599	572	626	+ 53		

主な増減要因(前年同期比)

- ✓ 農機製品・作業機は消費増税反動減からの回復や経営継続補助金などに伴う需要喚起もあり増収
- ✓ 新型コロナウイルス影響により展示会中止や規模縮小などの影響を受けたが前年同期比では緩和
- ✓ 部品売上、修理収入は引続き堅調に推移
- ✓ 施設工事は大型物件の受注・完工が減少
- ✓ 国内売上全体は、前々年対比でも大幅増収

前年同期比
+90億円

北米・欧州はライフスタイルの変化に伴う需要拡大により販売増加
アジアはタイ販売代理店連結子会社化(前期末)や中国向け増加等により増収

(単位:億円)	19/12期 2Q実績	20/12期 2Q実績	21/12期 2Q実績	前年同期比	
					備考
北米	66	50	78	+ 28	トラクタ: +28
欧州	73	64	108	+ 44	トラクタ: +12 芝刈機: +21
アジア	33	34	51	+ 17	トラクタ: +10 田植機: +4
その他	2	1	2	+ 0	
連結売上高合計	175	149	240	+ 90	

主な増減要因(前年同期比)

- ✓ 北米 : 好調なコンパクトトラクタ市場を背景に増収
海上輸送用コンテナ不足による未出荷などの受注残発生
- ✓ 欧州 : ライフスタイルの変化によるコンシューマー向けを中心とした好調な販売に加え、為替円安影響により増収
海上輸送用コンテナ不足による未出荷などの受注残発生
- ✓ アジア : 前期末タイの販売代理店を連結子会社化した影響、フィリピン向け入札関連や中国向け半製品の出荷増により増収

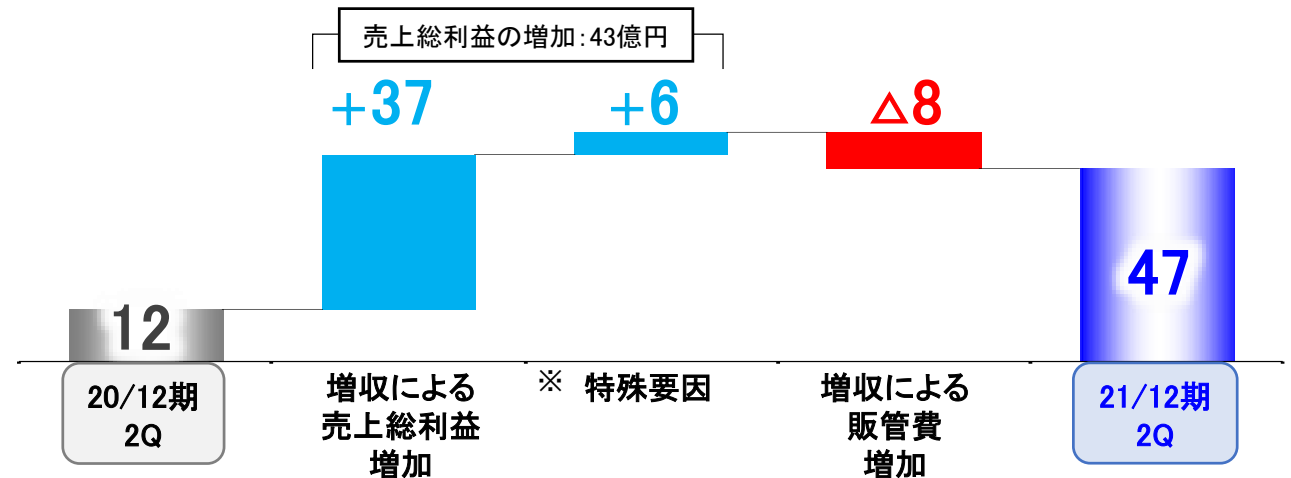
前年同期比
+34億円

増収による売上総利益の増加に加え、前期に計上があった部品在庫評価損の剥落など
特殊要因もあり増益

(単位:億円、%)

	19/12期 2Q実績	20/12期 2Q実績	21/12期 2Q実績	前年同期比
売上高	775	722	866	+ 144
売上総利益	225	214	257	+ 43
売上総利益率	29.1%	29.7%	29.8%	+ 0.1%
販管費	208	201	210	+ 8
人件費	122	120	123	+ 3
その他経費	86	81	87	+ 5
営業利益	16	12	47	+ 34

【営業利益増減内訳(前年同期比)】



※特殊要因

- ・前期に計上があった部品在庫評価損の剥落 +3
- ・前期減損損失計上に伴う減価償却費の減少 +3

【為替影響(億円)】

売上	原価	販管費	営業利益
+7	Δ4	Δ1	+2

経常利益、四半期純利益

経常利益
前年同期比
+44億円

為替差損益や持分法投資損益の好転に加え、一過性の営業外収益計上等により増益

(単位:億円)

	19/12期 2Q実績	20/12期 2Q実績	21/12期 2Q実績	前年同期比
営業利益	16	12	47	+ 34
金融収支	△3	△3	△3	△ 0
その他営業外損益	△4	1	11	+ 9
経常利益	8	10	55	+ 44
特別利益	1	6	0	△ 6
特別損失	△1	△1	△1	+ 0
税前利益	7	16	54	+ 38
税、税調整額	△1	△6	△12	△ 6
親会社株主に帰属する 四半期純利益	6	9	41	+ 31

営業外損益増減内訳(前年同期比)

為替差損益	+3億円
持分法投資損益	+2億円
受取和解金	+4億円

・ご参考)持分法関連

(単位:億円)

	20/12期 2Q実績	21/12期 2Q実績	増減
持分法投資損益 (営業外)	△1.8	0.3	+2.1
持分変動損益 (特別)	6.5	-	△6.5

※持分法適用会社 前期:東風井関、IST 2社
当期:東風井関 1社

バランスシート(連結)

前年同期末比

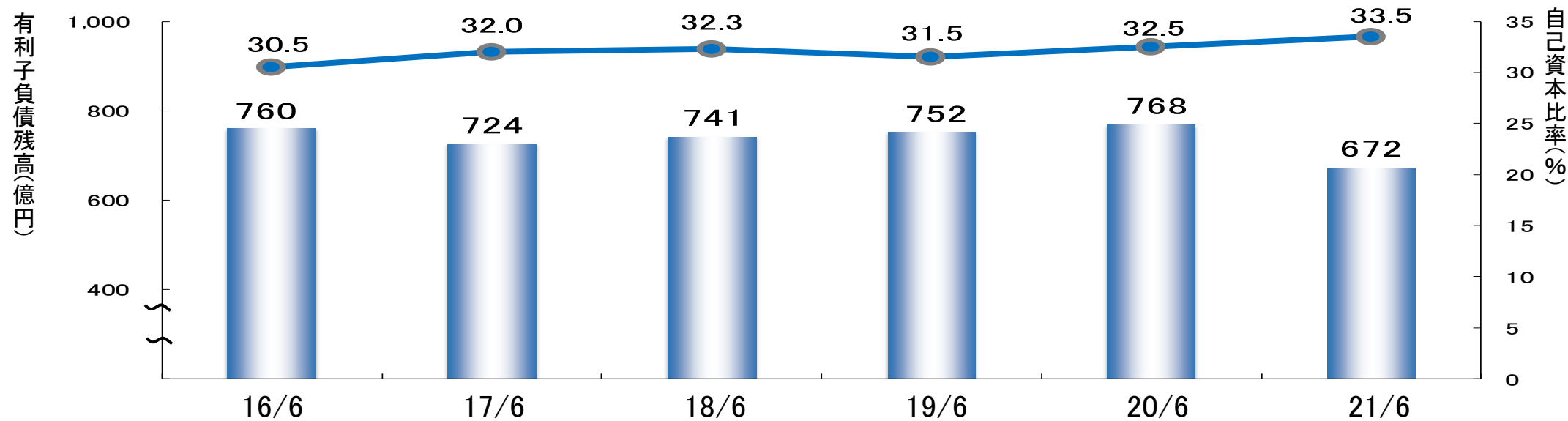
当期の増収・棚卸資産減少により収支改善 ⇒ 現預金の増
 固定資産減少 ⇔ 有利子負債・資本の減

(単位: 億円)	20/6月末	21/6月末	増減		20/6月末	21/6月末	増減
現預金	76	143	+67	仕入債務	413	411	△2
売上債権	302	321	+19	有利子負債	768	672	△96
棚卸資産	566	477	△88	(内借入金)	(686)	594	(△91)
(商品及び製品)	(484)	(400)	(△84)	その他負債	197	196	△1
その他流動資産	42	35	△6	(再評価に係る繰延税金負債)	(57)	(40)	(△16)
流動資産計	986	978	△8	負債計	1,379	1,279	△100
有形固定資産	974	854	△119	純資産	689	670	△19
(土地)	(508)	(446)	(△62)	(利益剰余金)	(173)	(186)	(+12)
(機械、運搬、リース)	(169)	(124)	(△45)	(有価証券評価差額金)	(△0)	(2)	(+3)
無形固定資産	13	22	+8	(土地再評価差額金)	(126)	(88)	(△37)
投資その他資産	95	95	+0	負債・純資産計	2,069	1,950	△119
固定資産計	1,082	972	△110				
資産合計	2,069	1,950	△119				

自己資本比率・有利子負債

有利子負債
D/Eレシオ

有利子負債の圧縮が進み D/Eレシオは1倍まで改善



借入金・社債	675	648	678	678	686	594
リース債務	85	76	63	74	82	77
有利子負債 計	760	724	741	752	769	672

D/Eレシオ	1.16倍	1.05倍	1.04倍	1.10倍	1.11倍	1.00倍
--------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

※D/Eレシオ=有利子負債/純資産 ※リース債務を含む

キャッシュ・フロー計算書

キャッシュ・
フロー

増収・棚卸資産減少により、営業キャッシュフローは大幅黒字化

(単位: 億円)

	20/12期 2Q実績	21/12期 2Q実績	前年同期比
営業活動によるキャッシュ・フロー	△30	74	+105
投資活動によるキャッシュ・フロー	△46	△13	+32
フリーキャッシュフロー	△77	61	+138
財務活動によるキャッシュ・フロー	66	△29	△96
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	1	+1
現金及び現金同等物の増減額	△10	32	+43

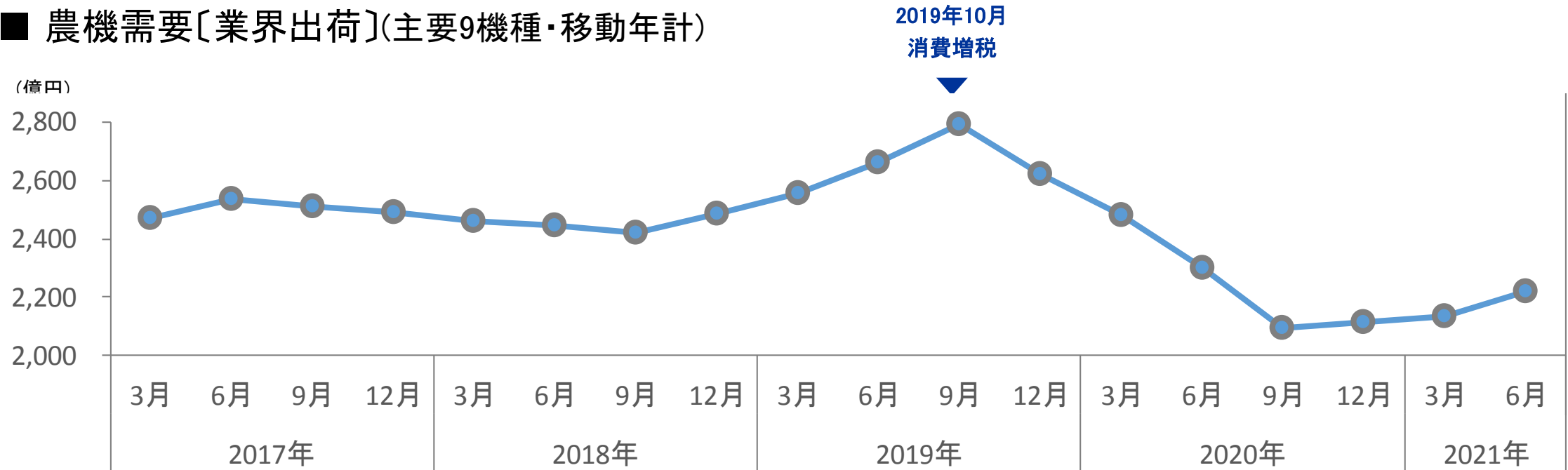
2. 国内外市場の動向



国内農機需要

上期は、消費増税反動減からの回復や経営継続補助金などに伴う需要喚起があったものの、新型コロナウイルス影響の長引き等により需要回復に遅れ。下期以降は、経営継続補助金などに伴う需要喚起の反動や米価低下による購買意欲減退等の懸念

■ 農機需要〔業界出荷〕(主要9機種・移動年計)



※主要9機種:トラクター、コンバイン、田植機、耕耘機、乾燥機、糶摺機、バインダー、ハーベスター、トリートメント

出所:日農工出荷統計より当社推計

当社実売

田植機新商品効果などにより、当社実売は業界を上回って推移

主要9機種 前年伸長率(金額、移動年計)

(単位:%)

		2018年/7月 ～2019年/6月	2019年/7月 ～2020年/6月	2020年/7月 ～2021年/6月	2021年 1月～6月
業界	(出荷金額)	104%	97%	96%	110%
当社	(実売金額)	99%	91%	104%	111%

※当社推計

※主要9機種:トラクター、コンバイン、田植機、耕耘機、乾燥機、籾摺機、バインダー、ハーベスター、トリートメント

大型農機

- ✓ 田植機が加わり、当社フラッグシップモデルの「All Japanシリーズ」が勢揃い
本年春より本格稼働し、販売好調

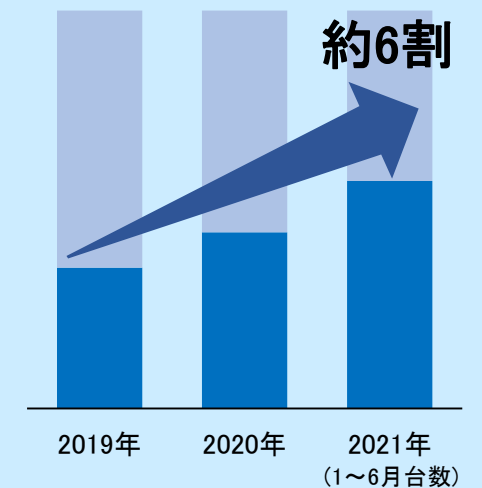


スマート農機

- ✓ 田植機8条クラスの約6割が直進アシスト仕様



8条クラスに占める
直進アシスト仕様の割合



- ✓ 有人監視型ロボット
田植機(2022年2月投入予定)

使用者の監視下において、
無人作業が可能



■ 営農ソリューション・ポータルサイト「^{エーモニー}Amoni」(2021年7月7日)

農業関連メーカーなどが参画し、各企業の商品情報や技術情報に加え、営農・栽培・先端技術など幅広い情報を一括で閲覧できる生産者向けポータルサイトをオープン

- ・対象：大規模生産者
- ・コンテンツ：【毎日の営農に役立つ情報】
 - ・天気予報
 - ・雨雲レーダー
 - ・積算温度予測
 - ・水稻生育予測【生産者の課題解決に向けた情報】
 - ・農業機械技術や栽培技術の実演動画
 - ・各地での実証レポート
 - ・セミナー、イベント情報
- ・目標：会員登録数10万軒



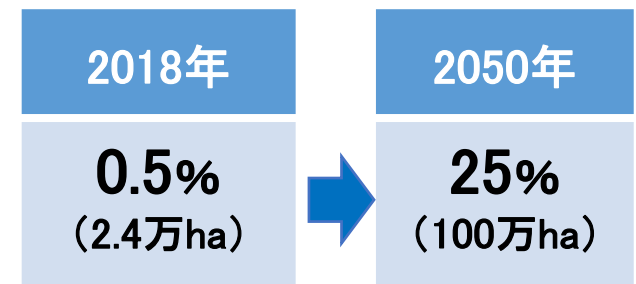
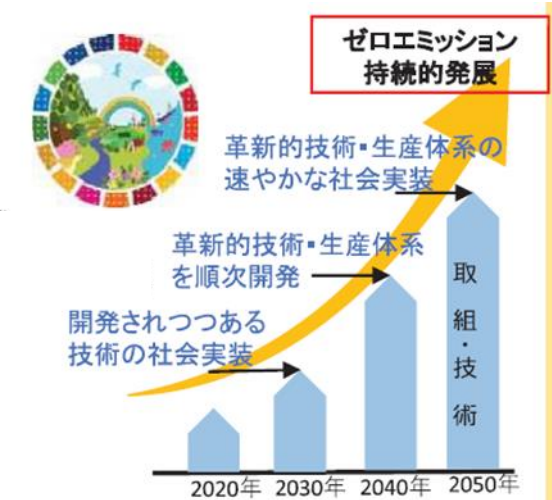
<https://amoni.iseki.co.jp/>

■農林水産省「みどりの食料システム戦略」 * 2021年5月12日策定

食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現させるため
中長期的な観点から戦略的に取り組む政府方針

【2050年までに目指す姿(抜粋)】

- ・農林水産業のCO2ゼロエミッション化の実現
- ・化学農薬使用量(リスク換算)の50%低減
- ・化学肥料使用量の30%低減
- ・有機農業の取組面積割合を25%(100万ha)に拡大



* 農林水産省「みどりの食料システム戦略」(令和3年5月)より抜粋

稲作における有機農業拡大 ⇒ 水管理作業、雑草管理作業が課題

■ 井関グループの取組み事例

有機米デザイン株式会社と自動抑草ロボットを活用した有機農業の普及発展に向けた業務提携を締結(2021年6月10日)

【提携内容】

- ・自動抑草ロボット開発における圃場実証試験
開発技術サポート、販売及びアフターサポート等
- ・自動抑草ロボットによるスマートオーガニックシステムの構築及びユーザー指導 等



持続可能な
農業促進



環境保全

北米

コンパクト市場は、個人ユーザー向けの需要増が継続。下期も上げ幅に若干の落ち着きはあるものの前年を上回って推移すると予想。当社売上・受注状況は好調も海上輸送用コンテナ不足による未出荷等が発生

1. 市場の動向

(単位:千台、%)

区分(PTO馬力)	1~6月累計			
	2019年	2020年	2021年	前年同期比
40HP以下(コンパクト)	98	110	120	117%
40~100HP(ユーティリティ)	31	33	39	120%
100HP以上	10	9	12	126%

(出所:AEM統計)

2. AGCO社(OEM先)の状況

実売台数(21/1-6月)

- コンパクト :前年同期比 122%
- ユーティリティ :前年同期比 122%

3. 当社の売上・受注状況

出荷・受注(21/1-9月) :前年同期比 162%

※海上輸送用コンテナ不足による未出荷等が発生

- ✓ 高い基本性能と低価格を実現したコンパクトトラクタが2021年より本格稼働

- ・当社内製エンジンを搭載し、環境性能向上を実現



MF1835E

欧州

現地小売店は、エッセンシャル・リテールとして営業を継続。巣ごもり需要によるコンシューマ向け需要増で、引き続き堅調に推移。現地実売・当社受注ともに好調も海上輸送用コンテナ不足による未出荷等が発生

1. 市場の動向

<景観整備市場>

- ・欧州各国でワクチン接種が進み、現地小売店の営業活動は徐々に平常時に戻りつつあり、足許ではコロナ禍前まで回復。
- ・巣ごもり需要によるコンシューマ向け需要増で引き続き堅調に推移。

2. 現地の実売状況

➤ 実売(21/1-6月)

- ・現地販売代理店 : 前年同期比 128%
(台数ベース)

3. 当社の売上・受注状況

出荷・受注(21/1-9月) : 前年同期比 211%

※海上輸送用コンテナ不足による未出荷等が発生

✓ 最高レベルの環境性能と充実機能を実現したプロ向け乗用モータが2021年より本格稼働

- ・欧州排ガス規制(EU StageV)に適合したエンジンを搭載
- ・プロユーザーの要望に応える基本性能の高さと充実した仕様装備



SF237

タイ

1. 市場の動向

農作物生産量、作物価格ともに昨年より回復し、農機需要も回復基調

2. 現地販売会社[IST Farm Machinery]の状況

現地実売台数(2021年/1-6月)

➤ アセアン戦略トラクタ：前年同期比 87%

・当社連結子会社化による
体質改善を図り、収益構造
再構築中(売上増、経費削減)



サービス研修の様子

3. 当社の出荷・受注状況

出荷・受注(2021年/1-9月)

:前年同期比 397%

インドネシア・ミャンマー

1. 市場の動向

<インドネシア> 政府入札は予算のコロナ対策への充当もあり
当初予定台数より減少

<ミャンマー> クーデターによる国内情勢の混乱から販売
店の営業活動に影響

2. 当社の受注状況 (2021年/1-9月)

<インドネシア> 政府入札、一般販売強化により前年同期比増。
現地でのブランド力を軸に更なる販売を推進。

<ミャンマー> クーデター影響で前年同期比減少。
混乱の長期化により営業活動は停滞。

3. PT.井関インドネシア(生産子会社)の状況 (単位:台、億円)

	2020年		2021年	
	2020年実績	1-6月実績	2021年計画	1-6月実績
生産台数	10,760	5,000	14,630	7,700
営業利益	3	2	4	2

中国

1. 市場の動向

中国 農機業界の動向 : 機種別 前年伸長率(台数) (単位: %)

	2019/1~6月	2020/1~6月	2021/1~6月
田植機(乗用)	94.5%	125.6%	140.8%
コンバイン(汎用、自脱)	87.7%	91.9%	125.1%
トラクタ(大中型)	106.4%	117.8%	117.3%

(出所)中国農業機械工業協会

2. 中央政府補助金

(単位: 億元)

2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
238	237	186	186	180	170	190

3. 東風井関の状況(2021年/1-6月、現地実売台数)

- 乗用田植機 前年同期比 104%
- トラクタ、コンバイン // 147%

韓国・台湾

1. 市場の動向

- <韓国> 大規模化に伴い、大型・高性能農機需要の高まり
- <台湾> 大型農機需要の継続、補助金反動減

2. 当社の出荷・受注状況

出荷・受注(2021年/1-9月) : 前年同期比 88%

- <韓国> 市場動向に伴い、大型・高能率コンバインは好調。トラクタは代理店の在庫調整により出荷減
- <台湾> 補助金の反動減影響やコロナ影響により伸び悩み、下期はスマート田植機を中心に拡販を図る

✓ 台湾向け田植機 PRJ8

請負業者向け高能率・高精度の田植機(直進アシスト仕様)を2021年6月より市場投入



3. 2021年12月期 業績予想



<事業環境想定>

新型コロナウイルス感染拡大は足許続くものの、ワクチン接種の進捗に伴い、
期末には緩和

第3四半期以降の見通し・リスク

国内	<ul style="list-style-type: none">✓ 経営継続補助金などに伴う需要喚起の反動✓ 米価低下懸念による購買意欲減退
海外	<ul style="list-style-type: none">✓ 北米、欧州の好調な受注継続✓ 新型コロナウイルス感染症影響に伴うサプライチェーンの混乱による未出荷などの受注残拡大
コスト面	<ul style="list-style-type: none">✓ 原材料価格の高騰と高止まり

2021年12月期 連結業績予想

連結業績予想

下期にかけてのリスク要因織り込み、当初連結業績予想から変更なし

(単位:億円)	19/12期		20/12期		※ 21/12期		前期比
	実績	比率	実績	比率	予想	比率	
売上高	1,498	100.0	1,493	100.0	1,535	100.0	+ 41
(国内)	1,177	78.5	1,159	77.6	1,179	76.8	+ 19
(海外)	321	21.5	333	22.4	356	23.2	+ 22
営業利益	27	1.8	20	1.4	36	2.3	+ 15
経常利益	11	0.7	17	1.1	35	2.3	+ 17
親会社株主に帰属する 当期純利益	7	0.5	△56	-	24	1.6	+ 80
為替平均レート (円)	米ドル	109.3	107.0	105.0	△2.0		
	ユーロ	121.6	121.5	123.0	+1.5		

※21/12期予想:2021年2月15日公表予想

4. トピックス



■「サステナビリティ委員会」の新設（2021年7月1日付）

事業活動を通じて豊かで持続可能な社会の実現に貢献するとともに、中長期的な企業価値向上に向けてサステナビリティを巡る課題への取り組みを強化するため、代表取締役社長を委員長とする「サステナビリティ委員会」を新設

■ISEKILレポート2021発行

掲載内容

- ✓ 井関グループの価値創造
 - ・中期経営計画（2021-2025）の考え方と戦略
 - ・マテリアリティ
 - ・各カンパニー展開 など
- ✓ 価値創造を支えるESGの取り組み

ISEKILレポート掲載ホームページ：<https://www.iseki.co.jp/csr/report/>



■ 知的財産について

1. 特許の日本における分野別登録数

「その他特殊機械分野」 第2位

年	2000～2006	2007～2014	2016～2017	2018	2019	2020
統計数	分野別公開数		分野別登録数			
分野	農水産		その他特殊機械			
順位	1位		2位		1位	2位

2. 特許査定率 「全産業中」 第1位

年	2004～2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
特許査定率	-	91.8%	94.7%	97.0%	99.2%	97.5%	100.0%	98.1%	96.4%	97.7%	98.7%
順位	1位	2位	1位					2位	1位		

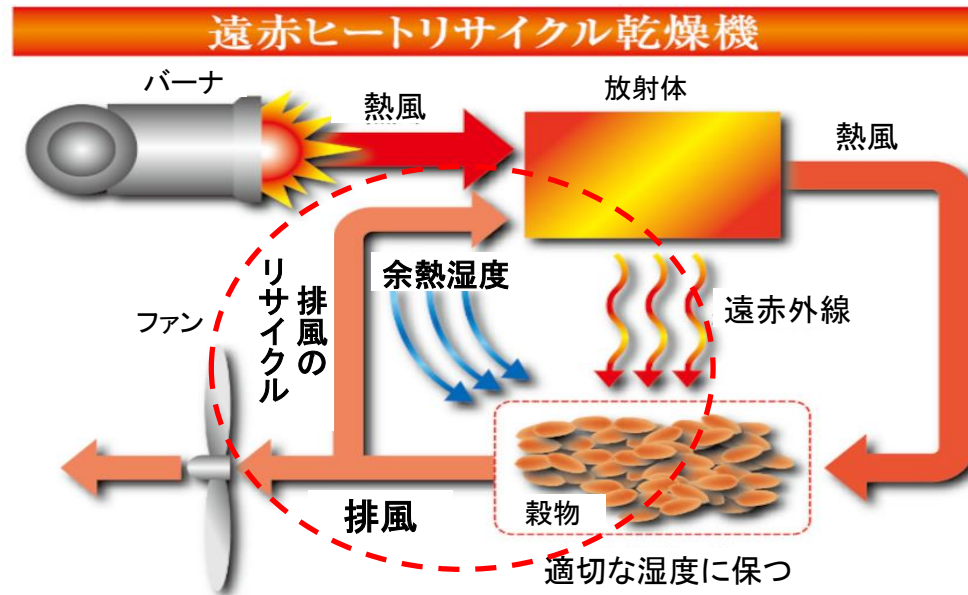
※特許査定率＝特許査定件数/(特許査定件数＋拒絶査定件数＋取下・放棄件数)、取下・放棄件数＝拒絶理由通知後に取下げまたは放棄した件数

出典：特許行政年次報告書2021年版(特許庁)

■「令和3年度全国発明表彰」にて「発明賞」を受賞

〈受賞内容〉 穀粒乾燥機のヒートリサイクル制御の発明

排風に含まれる熱と水分を利用して、
穀粒の胴割れを防止しながら省エネかつ高速乾燥を実現



ヒートリサイクル技術を使用した
乾燥機GMLシリーズ

燃料消費量
従来比 **13%** 削減

- ・本資料は、情報提供を目的として作成しており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。
 - ・本資料は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が作成したものでありますが、潜在的风险や不確実性が含まれており、経済情勢や市場動向の変化等により実際の結果と必ずしも一致するものではありません。
 - ・ご利用に際しては、ご自身の判断でお願い致します。
- 本資料に掲載している業績予想や目標数値に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。



未来の
ために、
いま選ぼう。

井関グループは、
環境省による地球温暖化対策に資するあらゆる「賢い選択」を
促す国民運動である【COOL CHOICE】の取組みに賛同しています。
「賢い選択」の提案として「エコ商品」など
環境に配慮した商品の開発普及を推進しています。